令和２年度　事 業 報 告

社会福祉法人　勝心会
施設長　西川　和代

令和２年度は、令和２年３月より流行が始まった新型コロナウイルスの影響で、緊急事態宣言が出る度に全面的な面会制限やボランティアの受け入れの中止を行い、行事の自粛、職員の出勤時の毎朝の検温等での体調管理に加えてマスクやゴム手袋、消毒液、ガウン、ゴーグルなどの衛生用品の調達、空気清浄機等の整備を行った。また、感染予防対策の研修はウエブ配信により随時実施した。

このようなコロナ禍において地域における公益的な取り組みとして「上郡町社会福祉法人連絡協議会（ほっとかへんネット上郡）」に参画し一人暮らしの高齢者に抗菌マスクを配布した。認知症カフェやサロン活動への参加、認知症サポーター養成講座等は自粛となったが、高田地区における買い物支援サービスは感染に注意しながらも継続実施した。

福祉人材の確保、育成の面では、不足していた特養ケアワーカーも充足し、自己研鑽できるウエブ配信の研修も随時活用できるようにした。また、外国人技能実習生は日本語も益々上達し両名ともＮ３合格となり夜勤の実習も実施している。

最後に今年度初めに「心理的虐待」で町より指導をうけたが、改善計画に則り、研修や改善を重ね、ナースコール（ピッチ式）の変更やケアワーカー室の改修など環境も整えることができた。今年３月に町より再度アンケート調査、聞き取り調査を受けた結果、５月 13 日に改善計画通り研修やマニュアルの周知も実施されており、今回の「心理的虐待」は終結との判断をして頂いた。しかしながら、今後とも気を抜かず二度とこのような心理的虐待が繰り返されないように指導を継続していきたい。